

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターしんばら

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和6年2月8日 13:15 ~ 14:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

しあわせいろのたね まころ

豊かな生活体験やあそびを通して、健康な心と身体作りをします。子育てセンターしんばらという環境の中で、たくさんの可能性を秘めた種を蒔き、あそびや活動を通して、成長していくために大切な土台を、家庭と協力しながら作っていきます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

いっしょに やってみよう

前年度テーマ「やってみよう」から今年度は更に、友だちといっしょ、先生といっしょ、家族といっしょ、地域の方といっしょ、様々な人や異年齢の関わりの中で、人とのつながりを大切に、互いに支え合い、子ども達のやってみようとする気持ちを大切にします。活動の中で散歩に多く出かけ、歩くことで足腰を鍛え、自然に触れたり、友だちと共感しながら励まし合い、たくましい心と身体づくりにつなげます。保護者の皆様にも、子どものやってみようとする気持ちを受け止め、共感し、一緒に楽しんでいただきます。

職員の具体的な取り組みとして、7つの活動に専門性を持って取り組めるよう、職員間で学び合い、計画・実践します。

【評価基準について】

4・・・十分に達成されていた

3・・・ほぼ達成されていた

2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない

1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・園内に掲示があり、いつでも確認でき、意識をしながら教育、保育ができています。 ・グランドデザインと重点目標を理解し、指導計画の作成を行っている。	4	・グランドデザインを意識しながら保育をしているかは分からないが、参観会で園児の様子を見て楽しく過ごしている様子を伺うことができ、先生方が教育・保育テーマを理解して行っていると感じた。 ・PDCAサイクルで実践を行っていて、改善しながらよりよい保育を行っていることとすることが分かった。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・指導計画作成の際には、子どもの育ちや発達段階を共有し、話し合いながら立案できている。 ・季節の行事や散歩、運動遊び、制作等、子ども主体の活動を計画し、実践できている。大切にしている7つの活動は担当の職員が遊びを提案し、活動につなげている。 ・子どもの発達に合わせた環境に配慮しているが、子どもが夢中になって遊びこめるような環境や、安心して過ごせる場所作りが十分できていない。	3	・参観の際、子どもたちがとても楽しそうに遊んでいる姿が印象的だった。 ・小学校でも個別の学びを大切にしたいという意識をもって計画をしている。「自分で選ぶ」ということがとても大切であり、「自分で選ぶ」ことができる環境を計画できているため、素敵だと思う。 ・一人ひとりに合わせた遊びの環境設定等、努力目標として「3」とする。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・担任だけでなく、園全体で子どもを見守る意識をもち、みんなで良いところを認め合える雰囲気を大切にしている。 ・好きな遊びを選んで遊ぶことができる。 ・毎日散歩に出掛け、園外保育では山登りなど、自然にたくさん触れ合えた。 ・世代間交流を意識し、しんばらの家を訪問したり、ボランティアの方に園に来てもらったりした。また、他の学年の子と食事を一緒に食べたり、散歩に出掛ける等、異年齢の交流が増えた。	4	・散歩はとてもよいと思う。様々な気づきがあり、感じたことを保育者が共感しながら、一緒に歩いているのではないかとと思う。小学校でも取り入れたい活動である。 ・しんばらの家に0・1歳児の子も遊びに行くことができたことは、子どもたちにとっても良い経験だが、施設に入所している方にとってもとても良い機会になったと思う。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、保護者に子どもの様子を伝えてくれる。会話の中で相談があったり、悩みを打ち明けてくれる時もある。相談しやすい雰囲気大切にしている。 ・必要な情報や、園での子どもの様子は、掲示、ブログ、メールで伝えている。 ・保護者が保育参加を体験することで、園生活を知ってもらう良い機会となった。 ・年長児の懇談会で就学に向けての話を詳しく伝え、保護者同士の懇談の時間をとることで安心している保護者が多くいた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のアンケートより、保護者とのよりよい関係性が築けているのではないかなと思う。 ・保育参加を行うことで子どもの姿を見ることができ、保育教諭がどのように関わっているのかも分かる。面談も行うため、安心感がある。 ・小学校では参観会は行おうが、普段保護者が学校に来ることは限られているため、保護者がいると子どもも職員もいつもと違う雰囲気になる。普段通りの様子を見ることができるとは、とても良いと思う。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援ひろばを毎日多くの地域の方が利用してくれている。 ・ブログの更新を頻繁に行っているため、園の様子が伝わっているのではないかなと思う。 ・「くすくす」の配布、地域の回覧板に手紙をはさんで見せていただいている。 ・一時預かり保育の申し込みが多い。子育ての悩みを共有しながら、園児と一緒に生活をしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ひろばにたくさんの未就園の親子が遊びに来たり、出張ひろばを週1回行っていることは、とても良いと感じた。 ・保護者のアンケートの中に、「様々な事件が起きているため誰でも入ることができると危ないのではないか」という意見があった。小学校も自由に入ることができると対策をとることは難しいが、本当に対策を行うのであれば防犯カメラや警備員などの対策が必要となるときがくるのではないかな。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶を心掛けている。 ・研修を受ける機会が多い。受けることでスキルアップにつながっており、保育に反映できている。 ・職員同士で声を掛け合い、助け合いながら働くことができている。 ・得意分野を活かし、それぞれの力を発揮できるようにしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・離職率が、毎年1・2名と同一、働きやすい環境ではないかなと思う。